

取組の概要

計画作成主体：中札内村地域担い手育成総合支援協議会
 対象品目：枝豆（産地面積 599ha）
 主な取組主体：中札内村農業協同組合
 成果目標：販売額の10%以上の増加（10a当たり）
 基準（H26年度） 49,023円/10a
 目標（H32年度） 93,185円/10a
 導入施設等：生産支援事業（機械リース）
 （収穫機 1台、全自動加工原料処理機
 自動選別機、計量・包装機 各一式）

北海道
中札内村
中札内地区



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

適正な輪作体系の確立や高収益な作物導入の観点から枝豆の生産拡大に取り組み、加工品である冷凍枝豆については需要が増してきているが、実需者ニーズの変化に即した販売品目の多様化等への対応が急務な状況にある。

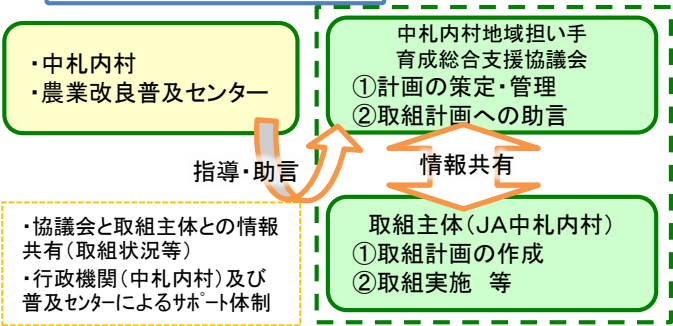
このことから、実需者が求める販売商品の多様な包装形態や量目に対応した出荷体制の整備を図るとともに、原料保管期間の短縮等による効率的な出荷体制を整備し、販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

①実需者ニーズに対応した出荷体制整備を図るため、自動選別機及び計量・包装機の導入を支援

推進体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

・冷凍枝豆（加工食品）は国内評価が高く、大手量販店からの需要も増えているほか、生産拡大により輸出向けの販路拡大に取り組む

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ① 選別処理能力向上により商品出荷率が向上し、販売額が増加
- ② 実需者ニーズに対応した効率的かつ省力的な選別出荷体制の構築による販路拡大、ブランド化の確立
- ③ 衛生的な選別・出荷体制の構築による品質の向上

【事業実施による間接効果】

- ① 効率的かつ省力的な選別・出荷体制の整備による大幅な労働力の軽減



販売額の増加

～枝豆の販売額～

